

20th Anniversary Exhibition

Nakagawa Mamoru

Design and
the Lustrous Beauty
of Metal

2023.7.15.Sat — 9.18.Mon

美
し
き
金
工
と
デ
ザ
イ
ン

中川 衛

開
館
20
周
年
記
念
展

【休館日】

水曜日(ただし9月13日[水]は開館)、
8月13日[日]—17日[木]

【開館時間】

午前10時より午後6時まで(ご入館は午後5時30分まで)
*8月4日[金]、9月1日[金]、9月15日[金]、9月16日[土]は
夜間開館を実施いたします。午後8時まで開館(ご入館
は午後7時30分まで)

【入館料】

一般 1,200円、65歳以上 1,100円、
大学生・高校生 700円、中学生以下 無料。
障がい者手帳をご提示の方、
および付添者1名まで無料でご入館いただけます。

主催

パナソニック汐留美術館

朝日新聞社

後援

公益社団法人日本工芸会

港区教育委員会

特別協力

公益財団法人ポーラ伝統文化振興財団

公益財団法人宗桂会

Closed:

Wednesdays (Except for September 13) and during August 13-17

Hours:

10 a.m. - 6 p.m. (Open until 8 p.m. on August 4, September 1,
September 15, and September 16.)

Admittance until 30 minutes before closing time.

Admission fee:

Adults ¥1,200

Visitors aged 65 or over with valid documentation ¥1,100

Students (High school and College) ¥700

Admission is free for children in middle school and younger.

Admission is free for disability passbook holders

and up to one accompanying adult.

中川 衛

《象嵌麗銀花器「チェックと市松」》(部分)

2017年 金沢市立安江金箔工芸館蔵

Nakagawa Mamoru

Vase, Cast Copper Alloy with Metal Inlay "Checked and Checkered Patterns" (part), 2017

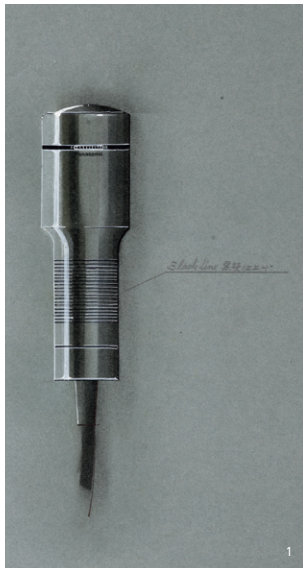
Kanazawa Yasue Gold Leaf Museum

20th
Anniversary

パナソニック
汐留美術館

Panasonic Shiodome Museum of Art
ROUAULT GALLERY

工 業 デ ザ イ ン か ら 伝 統 工 芸 、 そ の 未 来 へ



1. 中川 衛《電気シェーバー デザイン画》1970年代 個人蔵
Nakagawa Mamoru, *Design of Electric Shaver*, 1970s. Private Collection
2. 《「の」の字文象嵌鉢》銘 金澤住善左衛門永國作 17世紀 加賀本多博物館蔵
Abumi (Stirrups) with Metal Inlay, "No no ji" Design, 17th century, Kaga-Honda Museum
3. 高橋介州《加賀象嵌 埴輪馬置物》20世紀 公益財団法人宗柱会蔵
Takahashi Kaishu, *Haniwa-Shaped Object with Metal Inlay*, 20th century, The Soukeikai Foundation
4. 中川 衛《象嵌龍銀孔雀伏香炉》2016年頃 個人蔵
Nakagawa Mamoru, *Peacock-Shaped Censer with Metal Inlay*, c.2016, Private Collection
5. 中川 衛《象嵌龍銀花器「北社の朝」》2016年 パナソニック ホールディングス株式会社蔵
Nakagawa Mamoru, *Vase, Cast Copper Alloy with Metal Inlay "Morning in the Nordic Forest"*, 2016, Panasonic Holdings Corporation
6. 中川 衛・館鼻則孝《Heel-less Shoes "Downtown I"》2022年 個人蔵
Nakagawa Mamoru and Tatehana Noritaka, *Heel-less Shoes "Downtown I"*, 2022, Private Collection

パナソニック汐留美術館の開館20周年を記念し、パナソニック出身で、石川県金沢市を拠点に活動する金工作家・重要無形文化財「彫金」保持者(人間国宝)、中川衛(1947年生まれ)を紹介する展覧会を開催します。

金沢美術工芸大学で工業デザインを専攻した中川は、1971年に大阪の松下電工(現パナソニック)に入社し、美容家電製品などのデザインに携わりました。27歳で帰郷した後、石川県立美術館で行われていた鐘の展覧会を観たことを機に、地元の伝統工芸である加賀象嵌に魅了されます。そして彫金家の高橋介州(1905-2004)に入門し、石川県工業試験場に勤務しながら修業しました。日本伝統工芸展等で入選・受賞を重ねて作家として頭角を現していき、2004年には、金工の技術継承に尽力した功績により重要無形文化財「彫金」保持者に認定されました。また今まで、大学や造幣局などで後進の育成に尽力する一方、アメリカや台湾などで積極的に海外研修を行うなど、国際的な視野で活動を展開しています。

中川が追求する「象嵌」とは、金属の表面を鏝で彫り、できた溝に異なる金属を嵌めこんで模様を作り出す技法です。象嵌部分の深さはわずか1mm以下と非常に薄く、精緻な仕事求められます。その中でも中川は、複数の金属で構成し、難易度が高いとされる「重ね象嵌」を極めていきました。「工芸も工業デザインも創作の展開は同じである」と語る中川は、企業で身につけたデザイナーとしての制作手法を生かし、金工の試作を重ね、日常生活にヒントを得たフォルムと、自身の記憶から紡ぎ出した抽象文様により、現代的な象嵌の作風を築きました。

本展では、中川の初期の象嵌作品から最新作までを辿るとともに、1970-80年代に手がけたプロダクトデザイン、金工の道に進む原点となった加賀象嵌の名品、現代アーティストとのコラボレーション、中川から技を受け継ぐ次世代の作品まで、作品と資料を合わせて約100点を展覧します。中川の象嵌制作に一貫して息づくデザインの精神と、伝統技法の継承を目指すさまざまな取り組みにご注目ください。

Nakagawa Mamoru (b.1947) is a former Panasonic designer and a metal artist based in Kanazawa, Ishikawa Prefecture. In 2004, he was recognized as a Living National Treasure for his mastery in metalworking. Through some 100 artworks and documents, this exhibition traces Nakagawa's explorations of inlaying techniques from early in his career up to the present day. Displays include Nakagawa's early work as a product designer; masterpieces of Kaga-style metal inlay, which were his introduction to the world of metalworking; and works by young artists influenced by him. Visitors will recognize the living and breathing spirit of design in his creations and learn about his extensive efforts to pass on traditional techniques.



中川 衛 2022年

関連イベント

■記念講演会「金工とデザインについて」

講師／中川 衛氏(重要無形文化財「彫金」保持者、本展出品作家)

日時／7月15日[土]午後2時～午後4時(開場午後1時30分) 定員／100名(要予約)

会場／パナソニック東京汐留ビル5階ホール

お申込み方法／ハローダイヤル 050-5541-8600へお電話にてお申込みください(先着順)。

6月26日[月]より受付開始(受付時間午前9時～午後8時)

必要事項／①イベント名②参加人数(一度に2名までお申込みいただけます)③氏名(要全参加希望者)

④住所⑤電話番号 *お申込み時にいただいた個人情報は、本イベントの受講管理の目的でのみ使用します。

講演会は無料ですが、本展観覧券が必要です(小中学生は無料)。

イベント参加とは別に、展覧会観覧には、事前の日時指定予約をお願いします。

■映画「加賀象嵌 中川衛 美の世界 一新たな伝統を創る」

会期中、美術館会場にてご鑑賞いただけます(上映時間約40分)。

■オリジナルポストカードプレゼント

開館20周年にちなみ、7月20日[木]、8月20日[日]にポストカードを各日先着200名様にプレゼントします。

■学芸員によるギャラリートーク

7月21日[金]、8月19日[土]、9月15日[金]、いずれも午後3時～、予約不要、参加無料(本展観覧券が必要です)。混雑状況により、スライドトークに変更となります。

□夏休み特別プログラム「FUTURE LIFE FACTORY レトロ家電 ハックプロジェクト」

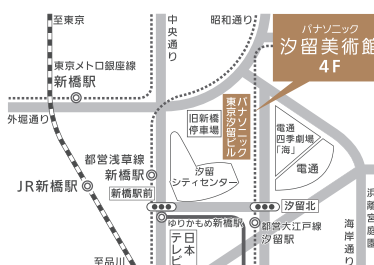
詳細は、当館ホームページをご確認ください。

□同時開催

ルオー・ギャラリーにて、当館所蔵のルオーコレクションの中から作品を展示します。

次回予告

開館20周年記念展 コスチュームジュエリー 美の変革者たち シャネル、スキャパレッリ、ディオール 小瀬千佐子コレクションより
2023年10月7日[土]-12月17日[日]



【住所】〒105-8301 東京都港区東新橋1-5-1
パナソニック東京汐留ビル4階
【お問い合わせ】ハローダイヤル 050-5541-8600
【交通のご案内】JR「新橋」駅より徒歩約8分、東京メトロ銀座線・都営浅草線・ゆりかもめ「新橋」駅より徒歩約6分、都営大江戸線「汐留」駅より徒歩約5分
【入館方法】混雑緩和のため、土曜・日曜・祝日は日時指定予約にご協力を願います(平日は予約不要です)。状況により変更となる場合がございます。最新の入館方法については当館ホームページをご確認ください。
【公式HP】<https://panasonic.co.jp/ew/museum/>



ご予約はこちら



Address: 4th Floor, Panasonic Tokyo Shiodome Bldg., 1-5-1 Higashi-Shimbashi, Minato-ku, Tokyo 105-8301
Access: 8-minutes walk from JR Shimbashi Station / 6-minutes walk from Shimbashi Station of Tokyo Metro Ginza Line, Asakusa Line, and Yurikamome Line / 5-minutes walk from Oedo Line Shiodome Station
Time-entry reservations are required for visits on weekends and holidays. For the latest reservation information, please visit our website.